

高精度標高データ整備

- 今回の「東日本大震災」では、
- 津波災害が大きな割合を占め、被災地沿岸の内陸域に巨大津波が襲来
 - これにより住民の遭難や建物の倒壊・破損が発生
 - ところによっては数十mの標高地点に到達した箇所も

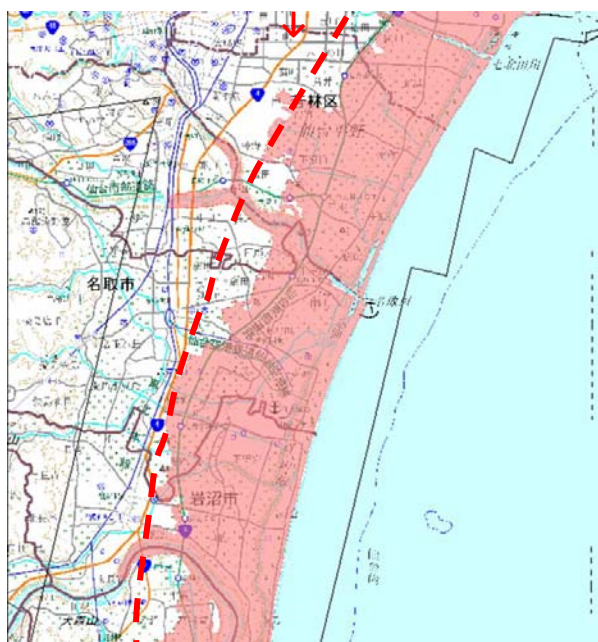


(「東日本大震災」での津波による被災)

国土交通省では、これまでに全国の主な沿岸域において約1km幅の範囲で精密標高データを既に整備しているが...

今回の大震災では1km幅より更に内陸地域にも津波が襲来

海岸線から5km幅の範囲



「東日本大震災」における浸水範囲の概況
(宮城県仙台市東南部)



既存の精密標高データ

概ね海岸線から5km*までに整備範囲を拡大し、高精度標高データを作成・提供! *標高についても考慮する

種々の防災・減災対策に資する資料の高精度化や視覚化に活用されることで津波シミュレーションや避難経路や避難先の特定等が可能になる